



令和 7 年 1 月 23 日

岡山大学病院のロボット支援肝胆膵外科手術が 300 例に到達 ～ロボット支援膵頭十二指腸切除術 100 例、ロボット支援肝切除術 100 例実施～

◆発表のポイント

- ・岡山大学病院肝・胆・膵外科では、保険診療に合わせて 2020 年 9 月からロボット支援下膵切除術（膵頭十二指腸切除・膵体尾部切除）、2022 年 7 月からロボット支援下肝切除術・総胆管拡張症手術を開始し、これまでロボット支援肝胆膵外科手術を 300 例実施しました。
- ・ロボット支援下膵頭十二指腸切除術は 2020 年 9 月に中国四国地方で初めて導入し、1 例ずつ症例を重ね、2024 年 11 月に 100 例に到達、これまで 110 例を実施しました（2024 年 12 月時点）。
- ・ロボット支援下肝切除術は 2022 年 7 月に導入し、2024 年 10 月に 100 例に到達、これまで 113 例を実施しました（2024 年 12 月時点）。

岡山大学病院 肝・胆・膵外科では、2020 年 4 月に肝胆膵疾患に対してロボット支援下膵切除術（ロボット支援膵頭十二指腸切除術および膵体尾部切除術）が保険適用となったことを受け、同年 9 月に中国四国地方で初めて「ロボット支援膵頭十二指腸切除術」を開始しました。

保険診療としてロボット手術を行うには一定の施設基準を満たす必要があり、現時点でロボット支援膵頭十二指腸切除術を岡山県で行っているのは、岡山大学病院のみであり、これまで 1 例ずつ症例を重ね、2024 年 11 月に 100 例に到達しました。また、「ロボット支援膵体尾部切除術」も同時に導入し、これまで 72 例を実施しました。

ロボット支援肝切除術に関しては、2022 年 4 月に保険適用となったことを受け、2022 年 7 月に導入し、2024 年 10 月に 100 例に到達しました。

2020 年開始の肝胆膵疾患に対するロボット支援膵切除術を皮切りに、2022 年開始のロボット支援下肝切除術、ロボット支援総胆管拡張症手術で症例を重ね、2024 年 12 月時点で、肝胆膵領域のロボット手術件数の合計が 300 例に到達しました。

◆研究者からのひとこと

近年の肝胆膵外科領域におけるロボット手術の発展は目覚ましく、多関節機能を有するロボット手術は、肝胆膵外科領域の高難度手術では、より安全で確実な手術につながる可能性があります。

岡山大学病院ではこれまで積極的にロボット（ダ・ヴィンチ）手術を実施し、2024 年 12 月にロボット支援肝胆膵外科手術（膵切除、肝切除、総胆管拡張症手術）が 300 例に到達、全国でもトップクラスの症例数を誇っています。



高木講師



PRESS RELEASE

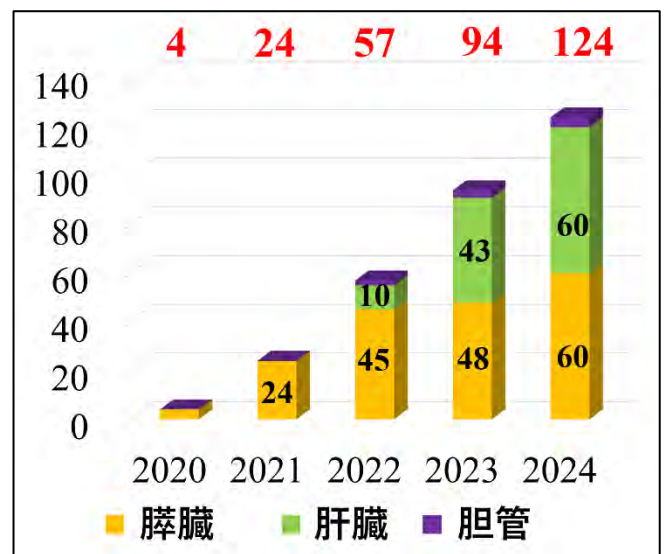
■発表内容

<実績>

岡山大学病院低侵襲治療センター（肝・胆・膵外科）の高木弘誠講師は、オランダ・ロッテルダムの Erasmus Medical Center の肝胆膵・移植外科への臨床留学中に多くのロボット支援手術を学び、その海外での経験をもとに、岡山大学病院にいち早くロボット支援下膵切除術・肝切除術を導入しました。

当院のロボット支援肝胆膵外科手術の手術件数は右図に示すとおり、年々増加傾向にあり、2023年は94例、2024年は124例を実施しました。年次手術件数に関しては、西日本ではトップの手術件数であり、全国でもトップクラスの症例数を誇っております。

各術式の治療成績に関して、「ロボット支援膵頭十二指腸切除術」の手術時間は約7時間、出血量は約60mL、術後入院期間は約11日、「ロボット支援膵体尾部切除術」の手術時間は約3.5時間、出血量は約15mL、術後入院期間は約9日、「ロボット支援肝切除術」の手術時間は約2.5時間、出血量は約10mL、術後入院期間は約7日、と手術時間や出血量、術後合併症の頻度は欧米の結果と比べて遜色のない結果であり、安全に施行可能であることを確認しています。



<社会的な意義>

肝胆膵外科手術は侵襲が大きい手術であり、ロボット手術の導入により、患者さんの身体的負担を減らせる可能性があります。直線的な操作に限定される腹腔鏡手術と異なり、人間の手のような多関節能を有するロボット手術では、操作性が格段に向上しています。よって、肝胆膵領域の高難度手術では、より安全で確実な手術につながることを期待されています。また、当院では、従来の開腹手術と比較して、合併症は大幅に減少し、術後入院期間の短縮にも貢献できています。

<お問い合わせ>

岡山大学病院低侵襲治療センター（肝・胆・膵外科）

講師 高木 弘誠

（電話番号）086-235-7257 （FAX）086-221-8775

（URL）<http://www.ges-okayama-u.com/>



岡山大学は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。